

講演

宮本輝と震災～なぜ震災は小説化が難しいのか～

阪神淡路大震災から30年。

宮本輝の震災体験を通して、大災害を小説化することの困難さについて概観し、小説という虚構作品の原理的性格と、現実や事実を書き写すこととの相容れなさについて、お話しします。

令和7年

3月1日(土)

14:00～(開場13:30)

伊丹市立図書館 ことば蔵

1階 交流フロア



講師：真銅 正宏さん

追手門学院大学学長 専門分野 日本文学

近著

『宿命の物語を創造する(宮本輝の小説作法 Part1)』2020年1月

『数奇の場所を文学化する(宮本輝の小説作法 Part2)』2020年11月

『まほろば文学街道』2020年2月

『言伝(ことづて)2020年学長は学生に何を伝えたのか』2021年10月

『異界往還小説考』2023年9月 など

定員 50人

参加費 無料

お申し込み 電話・直接来館にて受付

【参加にあたってのお願い】 当日、発熱(37.5度以上または平熱+1度以上)など、体調の悪い方は参加をお控えください。

主催・お問い合わせ・お申し込み

伊丹市立図書館 ことば蔵

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前3丁目7番4号

TEL (072) 784-8170 (交流事業担当)

月曜日休館 ※第1木曜日(図書整理日)は2・3階はご利用いただけません。

当館には駐車場はございません。

ご来館には電車・バス等をご利用ください。(JR・阪急伊丹駅より徒歩12分)

*身障者用駐車スペースのご利用につきましてはお問い合わせくださいませ。

